

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 26 年 5 月 22 日 (2014.5.22)

【公開番号】特開 2014-28324 (P2014-28324A)  
 【公開日】平成 26 年 2 月 13 日 (2014.2.13)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-008  
 【出願番号】特願 2013-235939 (P2013-235939)  
 【国際特許分類】

A 4 3 B 3/10 (2006.01)

A 4 3 B 23/02 (2006.01)

【F I】

A 4 3 B 3/10 Q

A 4 3 B 23/02 1 0 1 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 26 年 4 月 7 日 (2014.4.7)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

踵部の後端を最大の厚みにして爪先に向かって次第に薄くなるように形成された履物の靴底と、

前記靴底の周縁に接続され、足の爪先部を覆って足の甲部の高さに沿って次第に高さを増して足首付近に至って前記足の甲部を覆い、足の挿入口を形成するための周囲縁が前記足首付近から次第に高さを下げていって足の踵端に至って覆う形状にされたアップーとを有し、

前記アップーは、

中間層と、前記中間層の表層全体に接着された表面層と、

前記中間層の裏面全体に接着された裏面層とで構成された多層構造であり、

前記中間層は、

前記靴底の周縁に接続され、足の爪先部を覆って足の甲部の高さに沿って次第に高さを増して足首付近に至って前記足の甲部を覆い、足の挿入口を形成するための周囲縁が前記足首付近から次第に高さを下げていって足の踵端に至って覆う形状にされ、

さらに、前記中間層は、略 2 mm に圧縮されて硬度が 24 度程度のウレタンスポンジ製にされている

ことを特徴とする履物。

【請求項 2】

前記中間層は、

反発弾性が 40 % 以上であることを特徴とする請求項 1 に記載の履物。

【請求項 3】

前記表面層は、人工皮革、合成皮革、天然皮革、織布、不織布のいずれかであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の履物。

【請求項 4】

前記裏面層は織布、不織布、人工皮革、天然皮革、合成皮革のいずれかであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の履物。

【請求項 5】

前記表面層は光触媒機能材料が含浸されている請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の履物

。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで本発明は、踵部の後端を最大の厚みにして爪先に向かって次第に薄くなるように形成された履物の靴底と、

前記靴底の周縁に接続され、足の爪先部を覆って足の甲部の高さに沿って次第に高さを増して足首付近に至って前記足の甲部を覆い、足の挿入口を形成するための周囲縁が前記足首付近から次第に高さを下げていって足の踵端に至って覆う形状にされたアップパーとを有し、

前記アップパーは、

中間層と、前記中間層の表層全体に接着された表面層と、

前記中間層の裏面全体に接着された裏面層とで構成された多層構造であり、

前記中間層は、

前記靴底の周縁に接続され、足の爪先部を覆って足の甲部の高さに沿って次第に高さを増して足首付近に至って前記足の甲部を覆い、足の挿入口を形成するための周囲縁が前記足首付近から次第に高さを下げていって足の踵端に至って踵を覆う形状にされ、

さらに、前記中間層は、略 2 mm に圧縮されて硬度が 24 度程度のウレタンスポンジ製にされている

ことを要旨とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、前記中間層は、

反発弾性が 40 % 以上であることを要旨とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記表面層は、人工皮革、合成皮革、天然皮革、織布、不織布のいずれかであることを要旨とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、前記裏面層は織布、不織布、人工皮革、天然皮革、合成皮革のいずれかであることを要旨とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

本発明は、前記表面層は光触媒機能材料が含浸されていることを要旨とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】